

## パチンコの参加人口推移と参加人口増加のための対策

本論文では、日本のパチンコの参加人数の推移をパチンコの歴史を踏まえながら調査した。その結果、戦前からパチンコはあらたな遊技機発明によるブームや射幸性の向上によって人口が増加しては、その伴う規制強化による人口の減少という流れを繰り返しつつ、1990年代にピークを迎えた。しかしそこから現在に至るまで、参加人口は減少傾向にある。さらに、競馬やカジノとの比較も行い、それぞれの産業がなぜこのような人口推移をたどっているのかも考察した。競馬はインターネット投票の普及やレース映像をどこでも見ることができるという手軽さから参加人口及び売り上げを伸ばしており、カジノも周辺施設のリゾート化によって客足を伸ばしていることが分かった。

以上をふまえ、パチンコの参加人口増加のための対策として、①人気版権のパチンコ・スロット化による新規ユーザーの獲得、②現代の消費行動に沿った遊技機開発と普及、③人気演者によるパチンコ業界の認知拡大、④依存症対策や社会貢献活動を通じたパチンコ業界に対するマイナスイメージの払拭の4点を提案した。参加人口を増加させ、パチンコ業界が盛り上がるためには、現代のニーズに合った手軽に楽しめる遊技ということを周知させる必要がある。業界の実態や魅力を広めることで、これからもパチンコが日本の代表的なレジャーの一つであり続けてほしいと願う。